

# 写真で語る「命」

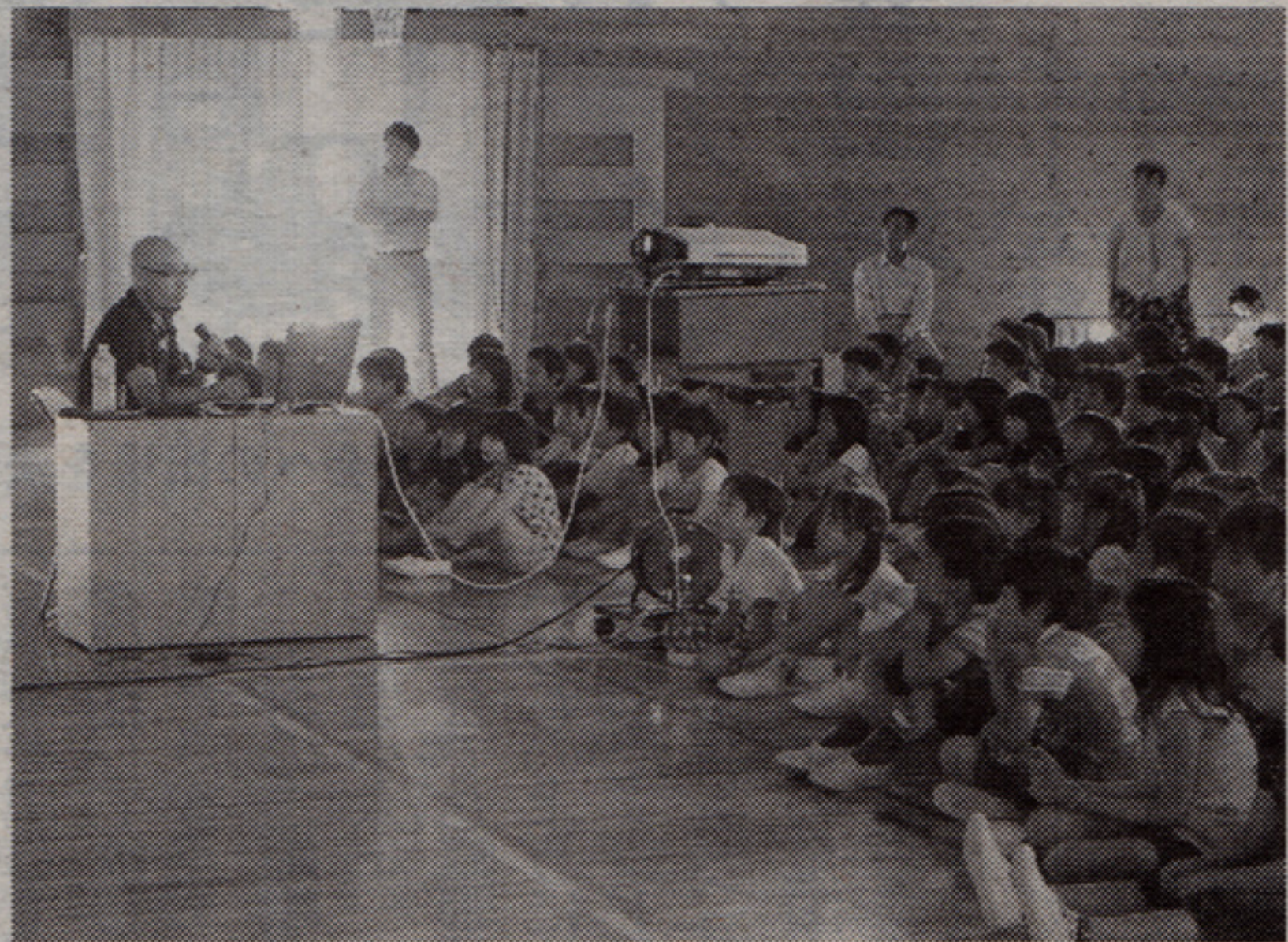
親子講演会で國森氏

【東近江】 東近江市

立山上小学校PTA（花戸貴司会長）が親子で命の大切さを考えてもらおうとこのほど開いた親子講演会で、写真家でジャーナリストの國森康弘さんの講演が、参加した保護者約七十人と全校児童百九十八人の心を揺さぶった。

「大切な命」と題して、

永源寺診療所の訪問診療を同行取材して、おじいちゃんやおばあちゃん、の最期を看取る孫やひ孫といった家族、地域の人々の命のバトンをリレーの姿を紹介した写真絵本「いのちづくみとりびと」（全四巻）の写真をはじめ、東日本大震災の被災者



國森さんの講演に聞き入る子どもたち——山上小学校体育館で——

やその家族の死に直面した生き方や看取り方といった姿を取り上げたドキュメント、世界の紛争地域で死と背中合わせの厳しい生活環境の中の子どもたちの姿など、スクリーンに

映し出される用意された四百八十九枚の写真と淡々と語りかける國森さん言葉に、命や人と人の絆の大切さを感じ取っていた。

國森さんは「世界の紛争地では悲しい死が多かった。永源寺であたたかい命のつなぎ方を教えてもらった」とも語った。